

多摩のくらし～歳時記～ 除夜の鐘



除夜の鐘は、一年を締めくくるための、なくてはならない行事です。厳かに、心に染み入るように鳴らされる108の鐘の音。その数にはどのような意味があり、いつごろから鳴らされているのか、諸説あります。十纏(じってん)といって、心にまとわりつく10の汚れと、人を迷いの世界に結びつける98の「結」を足した数として、108の煩悩が定着したという由来が通説のようです。

「本来人間は善の存在なのに、心にまとわりついた十纏を取り除けなかった時、過ちを犯すと考えられています。鐘の音は人間の生命のリズムと連動しており、その音色には人間の心魂に染みわたっていく響きがあります。ですから、迷いや煩悩の象徴である夜を除く「除夜」

の儀式として108回鐘をつき、厳かな音色で煩悩をひとつひとつ取り払おうということなのです。」と、日蓮宗妙厳寺住職の野坂法行師はいいます。

鐘をつく行者は538年(欽明天皇の時代)、仏教とともに渡り、また、それを伝える僧侶や、仏像を造る仏師なども日本に多く渡ってきました。

「平家物語」にも鐘の音色について記述がありますが、奈良の興福寺や東大寺などでは、かなり早い時期から鐘をつく儀式が行われていたようです。それが一年を締めくくる仏事として、次第に全国に定着していき、現在までに至るのです。(川口キン)

たま今昔

区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その7 向ヶ丘遊園モノレール跡地



昭和41年ごろ提供：稲田郷土史会
現在はばら苑へ向かうアクセスロードに
平成13年2月に廃線となった向ヶ丘遊園モノレール。もともと向ヶ丘遊園地向ヶ丘遊園駅間1.1kmを走行していました。現在、高架下跡地は生田緑地内「ばら苑」までのアクセスロードとして整備され、ニヶ領用水沿いの道にはさまざまなバラが植栽されています。また、モノレール在りし日の風景を思いおこさせる橋脚のミニチュアモニュメントを配置するなど、景観づくりの工夫がなされています。

「たま今昔」に掲載する昔の写真募集中!

ご自宅に眠っている、多摩区の昔の姿を捉えた写真を広報誌に掲載しませんか?
ご提供いただける方は、事務局までご連絡ください!

編集後記

3期目も残り1号となりました。編集委員一同、多摩区まちづくりの話題を求め、和やかに力を合わせてまいりましたが、いかがでしたでしょうか?良いお年をお迎えください。引き続きご愛読を。(藤田)

まち協のホームページ <http://tamaku-machikyoo.com/>

たまの顔

川崎市立 多摩病院

24時間365日の小児医療を含む救急医療に取り組み、「出来るだけ断らない方針」の川崎市立多摩病院(病院長上野聡樹先生)は、建物・設備を市が作り、管理運営を聖マリアンナ医科大学が行うことで、救急の受け入れと大学病院との連携が密に図られ、両方の良いところが得られています。(外来/日平均約800人)



災害時には地域の拠点となる病院として、ヘリポートや免震構造などの頑大な設備を備え、平成25年10月には、外来エリアから外庭にまでテントやベッドを組み立てて、大規模災害を想定した訓練(トリアージ)が行われました。また、地域医療を支援する病院として、診療所・クリニックなどからの紹介患者さんを優先し、高額な医療機器での検査の提供や、地域の開業医とその従業員への教育支援もしています。



大規模災害を想定した訓練

妊産婦の異常出産に対して、母体胎児集中治療室(MFICU)の設備がある大学病院へ早めに紹介するなど、適切な対応がなされています。

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2013年(平成25年)12月

42号



多摩の風景

長尾神社のおマト

1年の家内安全や平穏を願って

お正月気分もそろそろ覚め始める1月7日(あるいは直後の日曜日)、長尾神社では、「無病息災、五穀豊穡」を祈願して射祭(おマト)が奉納されています。1年の家内安全や平穏を願って、たくさんの老若男女が見学を兼ねてお参りに訪れます。

おマトでは、拜殿の前に筵(むしろ)を敷き、そこから7歩半(約5m45cm)離れた、直径5尺2寸(約1m58cm)の的に向かって矢を射ます。射手は紋付羽織を着た、長尾地区の稚児(5歳)2人と介添え2人が筵に正座し、5尺2寸の桃の弓を使って介添えが竹の矢を射ます。これを3回続けます。的の中心の裏側には、真ん中と4隅の5ヶ所に「鬼」の字を書いた半紙が貼られており、矢が鬼の字を射れば、その年は豊作といわれています。

おマトなどの行事の企画・運営は、長尾神社奉賛会(旧氏子中の6地区、6組より選出された約30人の理事を中心に構成)で、輪番体制で行われています。理事長の鈴木さんによると、皆さんの高齢化が進むなどすることで、江戸時代からのしきたりを守り、行事をとり行うことがだんだん難しくなっているものの、平成26年のお正月は、大谷戸地区が順番に当たっているとのことです。



+ 活動 おマトを守る人たち



拜殿前でおマトの準備

長尾町会には、雪ヶ坂、大谷戸、中村、下河原、下原、台の6地区、6組があり、輪番でおマトを実施しています。当番の組は、全体運営のほか射手、矢取人、稚児の人たちを出し、規定の弧矢や神饌(しんせん)・供物なども用意をするそうです。

電話 044-911-2005(鈴木 恕(ひろし)様)

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>



多摩★まち Cafe

記事 本多

11月11日(月)、「みた・まちもりカフェ」「たまザーもも倶楽部」「コミュニティカフェ まめり」の3団体をお招きし、50人以上の参加者と「多世代交流を広げよう」をテーマにした多摩★まち Cafeを開きました。「子育て中にお世話になって自分が落ち着いたら、今度は手助けをする側にまわる。そんな循環型の社会になるといいですね」と参加者から声がありました。



会場いっぱいの参加者

第36回 多摩区民祭

記事 古川

生田緑地かわさき宙と緑の科学館前の芝生広場は、舞台の前に椅子が並んでイベント会場になり、ダンス、歌、太鼓などのパフォーマンスが次々に繰り広げられました。その周りにはさまざまな出店、出展があり、芝生の上にシートを広げて食べる家族連れ、お店に行列する人など、区民祭を楽しむ人、人で一杯でした。「多摩の居場所ふらっと」と「多摩エコスタイル」の2プロジェクトも会場に出展し、区民と触れ合いました。



ステージでの太鼓演奏 まち協の2プロジェクトも参加

多摩区の活動団体紹介!

たまザーもも倶楽部

取材 粕谷



ママのスキルを活かします



子どもたちが大胆アート!

乳幼児を持つママたちが平成23年に立ち上げ、子どももパパもママも、そして地域の人も“みんながキラキラ生きる笑顔つながる街”を目指して活動している市民活動グループです。『キッズキッチン』や『キッズアート工房』などママのスキルを生かしたワークショップなどを開催しています。ママ発信の企画、楽しみにしたいですね。

ボールドーナツをつくろう

記事 大竹

ふらっとによる生田中学校の文化体験教室への参加活動は、今回で4回目です。毎回楽しく「作って楽しく食べよう！」が行われています。今回は57名の生徒が体験し、ボールドーナツを作りました。油を使っ



油を使った料理に興味津々

ゲームで学ぶごみの分別

記事 渡部

10月25日(金)区役所1階アトリウムで、ごみの分別をゲームで学ぶイベントを行いました。参加者にさまざまなごみ・資源を配り、プラ製容器包装やミックスペーパーなど、6種類に分別してもらいました。完璧にこなす主婦や疑問を解消した人が満足する姿がありました。少しずつ分別の取り組みを広げていきましょう!



ごみを正しく分別できますか

多摩★まち大学 「孫に好かれるシニアになろう」の3回連続講座(7月~9月)に参加して 葛生茂(くずうしげる)さん

記事 高瀬

表題の講座に参加されたのち、その学びを生かし、その活動の場を広げている方を紹介します。『当講座のフィールドワーク(第2回目講座)で、子育て支援団体の「ままとんきっず」を訪ねた折、川崎市の「ふれあい子育てサポートセンター事業」の事を聞きました。早速ヘルパー研修会に申込み登録研修を修了し、現在は「子育てヘルパー会員」として児童の通級指導教室への送迎を支援しています。』



葛生茂さん

多摩区の宝磨き戦略を語らう

情報

タウンセールス・ミーティング

11月30日(土)、多摩区役所で、多摩区に数多くある魅力ある地域の資源(宝)を今後どのように磨き、輝かせるかを語り合う「タウンセールス・ミーティング」が開かれました。会場には約100名の参加者が集い、ディスカッションの他、長尾こども太鼓、区内3大学の学生、観光ボランティアガイド、生田緑地運営共同事業体によるPRや全国から集まった「多摩区魅力アップ・アイデアコンテスト」表彰式などが行われ、盛りだくさんで熱い1日となりました。



多摩区の魅力を大いに語りました

多摩★まち大学 平成25年度視察研修会 「藤野の住民がつくる持続可能なまちづくりの取り組みを観る」

記事 高瀬

秋晴れの11月1日(金)、バス満席の参加者40名でトランジション・タウン藤野(神奈川県相模原市)に視察研修に行きました。廃ホテルを再活用したクリエイティブヴィレッジや、ふじの아트ヴィレッジ、市民発電施設を見学した後、藤野電力、地域通貨よろづ屋、森部の活動などを通した持続可能な取り組みを聴くことができた、充実の1日でした。

訪問先：クリエイティブヴィレッジ/ふじの아트ヴィレッジ 牧郷ラボ/藤野倶楽部/篠原の里センター
※英国で生まれたトランジション・タウン「人間にとって持続可能な環境を作り出すためのライフスタイルをデザインし、またそれを実践していく」を実践しているのが、トランジション・タウン藤野です。



藤野到着!クリエイティブヴィレッジへ

ふじの아트ヴィレッジ



廃校利用の牧郷ラボ

藤野倶楽部

篠原の里センター

区内のまちづくり活動を知って、楽しくつながろう!

情報

区内の活発な市民活動を知り、参加者同士が交流できる年1回のイベント「まちカツ!」(まちづくり活動発表会)を今年度も開催します。20団体以上が出展するポスターセッションでは、各活動団体の熱い発表が繰り広げられます。
【日時】2月11日(火・祝)13時~16時半
【場所】多摩区総合庁舎11階
【内容】講演会(講師:NPO法人ハンズオン!埼玉西川正氏)、多摩区まちづくり協議会の活動発表、ポスターセッション、交流会など
【申込】不要(参加無料)



昨年の「まちカツ!」

まち協のイベント情報(1月~3月)

1/7(火)	昔遊び@東菅小わくわくプラザ	14時~16時(予定)
1/19(日)	ふらっと@枳形いこいの家	12時半~15時半
2/3(月)	活動団体紹介ポスター展	
2/14(金)	まちカツ!の一環で行う市民活動団体のポスター展	
2/11(祝・火)	まちづくり活動発表会「まちカツ!」	13時~16時半
2/19(水)	昔遊び@稲田小わくわくプラザ	14時~16時(予定)
2/27(水)	第4期多摩区まちづくり協議会公募委員募集説明会	①14時 ②18時半
3/15(土)	エコショッピングクッキング	
3月(未定)	多摩区にみどりのカーテンを作ろう	

※ イベントの内容は変更になる場合があります。